

【方針3】 生涯にわたって学び続ける「ふじの人」の育成

〔施策の柱1〕 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

本年度も、人生100年時代を豊かに過ごすために、生涯を通じた学びの場、市民が主体的に行動する学びの場を整備していきます。

近年、少子高齢化や人口減少等により社会の構造変化が起きる中、地域社会の課題も多様化していることから、市民が地域に関心を持つきっかけとなる機会の創出を目指して、地域に関する学習や地域の人材と協働した講座を行っていきます。

生涯を通じた学びの場の充実を実現する取組として、趣味を通じた新しい仲間との出会いや、教養を深める場所を提供することなどを目的に、様々な実施主体による多様な分野のまちづくりセンター講座を実施するとともに、豊かな人づくりを目指し、より高度で専門的な知識を学ぶ機会を提供するため、富士市民大学を開催します。

また、家庭教育力の向上を目指し、家庭教育支援員等の地域人材のネットワーク化を進める取組を継続するとともに、放課後における子どもの居場所づくりと体験学習の機会提供等を目的に「放課後子ども教室×少年教育講座³³」を実施します。

「放課後子ども教室×少年教育講座」は、小学生児童を対象に、各地区まちづくりセンター等を主会場にして、放課後の安全な居場所づくりを行うとともに、地域の実施主体と連携し、多様な体験活動を実施します。学校や地域等と連携しつつ、「STEAM教育³⁴」などの時代のニーズに合った講座内容を一部に盛り込み、子どもたちが安心して楽しく学ぶことができる場の提供を拡充してまいります。

また、地域全体で子どもを育む環境づくりを進めるため、学校と地域の連携・協働に向けた取組を支援するとともに、地域学校協働活動³⁵の在り方について検討を進めてまいります。

そのほか、青少年の体験事業等を企画・実施し、体験格差を是正するとともに、青少年育成団体の活動を支援することで、体験や交流の場を確保していきます。

青少年体験交流事業については、引き続き「無限∞のキズナ」を、長野県伊那市を中心に実施してまいります。

「無限∞のキズナ」では、『キズナ学習』などの「仲間づくりプログラム」として、「最高のチームを作ろう」の目標達成に向けて、仲間と困難を共に乗り越えることを体験し、コミュニケーション力や課題解決力を身に付けるとともに、自己肯定感を高めることで前向きに生きる青少年を育成することを目指していきます。

また、「地域交流プログラム」、「自然体験プログラム」では、長野県ならではの自然、郷土体験活動を通し、地元の方々の地域を盛り上げようとする熱い想いに触れることで、自分の生まれ育った故郷への郷土愛を育むきっかけづくりとなるように、現地の方々と協働で事業の構築をしてまいります。

そのほか、雫石町少年交流事業関連として、ANAグループと協働で、キャリア教育プログラム「ミライつく～る³⁶ in Fuji」を実施し、「夢をもつこと」「夢に向かって、努力し続けることの大切さ」を学ぶ機会を創出します。

³³ 放課後の子どもの居場所づくりと体験学習を目的として、小学生を対象にまちづくりセンター等を会場に実施する講座

³⁴ 科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術・リベラルアーツ (Arts)、数学 (Mathematics) の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念

³⁵ 地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体、機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動

³⁶ ANA (全日空) グループが、航空業界の仕事や必要なスキルについての講義、実際の職場体験を行う、子どもを対象としたキャリア教育を目的としたプログラム

そして、20歳を迎える方々を対象に、「富士市はたちの記念式典」を人生の節目を祝う機会として引き続き実施します。また、18歳の新成人に対しては、祝意メッセージとともに富士のほうじ茶一煎パックを送り、成人の門出を祝います。

また、青少年の健全育成に向け、非行防止のための補導活動を行うなど、青少年を取り巻く環境をよりよいものにしていきます。

各施策の重点事業（☆新規・重点事業）
<p>【施策①】生涯を通じた学びの場の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地区まちづくりセンターを会場に、新しい趣味の発見や仲間づくり、教養を深める身近な場を提供することを目的として、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の方々を対象に多様な分野の講座を開催する。 自ら学んだことを還元する意欲のある市民を応援し、民間団体の活性化を図るとともに、市民のニーズに応える魅力的な講座を提供するため、市民や民間団体が主体となって開催する「市民プロデュース講座³⁷」や「オープン自主グループ講座³⁸」、「みんカル講座³⁹」を実施する。 豊かな人づくりを目指し、より高度で専門的な知識を学ぶため、各専門分野に精通している教授や著名な講師等を招き、富士市民大学⁴⁰を開催する。
<p>【指標に関する取組】 新しい趣味や仲間づくりを目的としたまちづくりセンター講座の実施 【指標】講座を受けたことによって、学ぶ意欲が高まったと回答した参加者の割合 【R6実績/ R7目標/R8目標】93.2%/100%/100%</p>
<p>【施策②】地域ぐるみの社会教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくりセンター講座等において、地域の資源や魅力を知る学習や地域の人材を活用した学習、地域活性化に資する学習等を目的とした「人づくり講座」を継続して実施する。 ☆地域の未来を担う人材育成のため、小学生等を対象に少年教育講座を継続するとともに、放課後における子どもの居場所づくりと体験学習の機会提供等を目的に実施する「放課後子ども教室×少年教育講座」を拡充する。 家庭の教育力向上を目指し、家庭教育支援員⁴¹など、地域で活躍する人材のネットワーク化を進めるため、家庭教育支援員等への学習機会の提供や交流の場づくりを継続して行う。 小中学校入学前の保護者を対象とした子育て講演会を継続して実施するとともに、未就園児とその保護者を対象とした家庭教育講座を実施する。 地域全体で子どもを育む環境づくりを進めるため、学校と地域の連携・協働に向けた取組を支援するとともに、地域学校協働活動の在り方についての検討を行う。
<p>【指標に関する取組】 人づくり講座の実施 【指標】講座を受けたことによって、富士市・地域の魅力や課題を知ることができたと回答した参加者の割合 【R6実績/ R7目標/R8目標】88.5%/100%/100%</p>

³⁷ 市内で活動している団体や市民が企画・運営する講座。市民主体の地域づくりや地域の担い手づくりを推進することを目指している。

³⁸ 同じ趣味や興味・関心を持つ仲間が集まり、まちづくりセンターで活動している自主グループが開催する初心者向け体験講座

³⁹ 趣味教養・仲間づくりを目的とする講座のうち、市内で活動している民間団体が企画・運営する講座。民間団体が得意とする分野の講座を、まちづくりセンターで展開し、地域に根付いた魅力的な講座を目指す。

⁴⁰ 前期ミニカレッジは各専門分野の教授や有識者等と連携して開催、後期講演会は各分野で活躍する著名な講師による講演会を開催している。

⁴¹ 静岡県家庭教育支援員養成研修で、家庭教育支援の知識とスキルを学んだ人。行政や学校と協力して、保護者会、懇談会、家庭教育講座等の保護者が集まる場で、子育てについての悩みや不安を話し合う会等の進行や、情報提供を行うなど、保護者の学びの支援を行う。

【施策③】新たな時代を生き抜く次世代の育成

- ・ 青少年体験交流事業「無限∞のキズナ」を、長野県伊那市などを舞台に実施し、次世代リーダーの育成等を行う。
- ・ 岩手県雫石町との少年交流事業を富士市で実施し、地元の特色を学習しながら相互交流と集団生活を通じて、他人への思いやりの心を養う。
- ・ ANAグループと協働で、キャリア教育プログラム「ミライつく～る in Fuji」を実施し、仕事体験ワークを通して、子どもたちが未来を切り拓く力を育む。
- ・ 青年の主体的な社会参加を促すため、青年教養講座を実施するとともに、受講生同士の交流の場を企画し、仲間づくりと社会貢献活動に参加するきっかけを提供する。
- ・ 青少年の非行防止のため、声掛けをはじめとする補導活動や環境浄化活動を推進する。

【指標に関する取組】

青少年体験交流事業の実施

【指標】 青少年体験交流事業参加者の満足度（雫石町少年交流事業、青少年体験交流事業の満足度）

【R6実績/ R7目標/ R8目標】 100%/100%/100%

その他の事業

- ・ 市政いきいき講座
- ・ 青少年育成団体への活動支援
- ・ 「富士市はたちの記念式典」の実施
- ・ はぐくむF U J I 出会い応援事業「出会いのカフェタイム×印象アップセミナー」の実施



放課後子ども教室×少年教育講座
「富士市立高校生とゲーム」



まちづくりセンター講座（富士川）
「わくわく！親子チャレンジ～エコ×体験遊び」



無限∞のキズナ
「入笠山ハイキング」



富士市・雫石町少年交流事業
「森のしずく公園 献花拝礼」

〔施策の柱2〕 市民の学びの場である図書館の充実

図書館は、生涯にわたる読書習慣の推進と生涯学習を支援するための拠点として、様々なサービスを提供します。

利用の傾向を踏まえた幅広い分野の資料を収集し、市民ニーズに応じた資料を提供します。

子ども読書活動の推進のため、出産を待つ保護者に読み聞かせ講座を実施し、ブックスタート、セカンドブックにより、乳幼児期から子どもとその保護者に絵本の楽しさに触れる機会を設けます。併せて、図書館利用促進のため、託児サービスを実施します。

いつでもどこでも利用可能な電子図書館、及び令和6年度に導入したオーディオブック⁴²などについては、利用の促進のためサービスの周知に努めます。

来館が困難な利用者に幅広く読書の機会を提供するため、移動図書館を巡回させるとともに、希望する施設には配本を実施します。また、点訳・音訳資料を必要とする利用者に資料や情報を提供するなど、様々な形で図書館サービスを提供します。

読書や本に関する講演会や講座などを開催し、市民の知的欲求に応えるとともに、生涯にわたる読書習慣の推進に努めます。

本・人・地域をつなぐ人材育成のため、読書関連団体やボランティアに活動場所や情報を提供します。講座や勉強会を開催することで支援するとともに、図書館主催イベントなどでの発表の機会を提供します。

各施策の重点事業（☆新規・重点事業）

【施策①】生涯にわたる読書習慣の推進

- ・各館の利用傾向等を考慮した効果的な選書と、蔵書の新鮮度を保つための計画的な除籍を実施する。
 - ・「プレママ・プレパパ読み聞かせ講座」「ブックスタートふじ」「セカンドブックふじ」を実施し、保護者へ読み聞かせのやり方を紹介し、子ども読書活動を推進する。
 - ・市内小中学校等へGIGA タブレット用の「ふじ電子図書館」のIDとパスワードの配布を継続する。
 - ・移動図書館の巡回により、図書館から離れた地域や、高齢者施設、幼稚園、保育園等へ図書館サービスを提供する。
- ☆「ふじ電子図書館」の利用促進とサービス拡大のため、電子雑誌を導入する。

【指標に関する取組】

市民の読書活動の推進

【指標】一人当たりの図書貸出数

【R6実績/ R7目標/R8目標】6.6点/7.2点/8.2点

⁴² ナレーター、声優等が本を朗読する、耳で聴いて楽しむ読書。パソコンやスマートフォンで図書館のウェブサイトアクセスし利用できる。

<p>【施策②】本・人・地域をつなぐ人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土資料研究や読書会活動などを目的とする読書関連団体に会場や資料を提供するなど、生涯学習活動を支援する。 ボランティアのための講座や勉強会を開催し、読み聞かせや点訳・音訳技術の向上を支援する。「本はともだち子どもまつり」「図書館まつり」等のイベントでは、ボランティアの協力を得るとともに、その活動をPRし、市民に理解と周知の促進を図る。
<p>【指標に関する取組】 <u>ボランティア養成講座の開催</u> 【指標】 ボランティア養成講座の参加者数（累計） 【R6実績/ R7目標/R8目標】 1,272人/<u>1,500人</u>/1,800人</p>
<p>その他の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「児童文学講演会」、「親子で体験！はじめてのデータベース講座」、「ビジネス支援講演会」、「古文書講座」など生涯学習を促進する講座の開催 「本はともだち子どもまつり」「ビブリオバトル」など利用推進のためのイベントの開催 「富士市立図書館協議会」「富士市子ども読書活動推進協議会」の開催



「一般文学講演会」



「親子で体験！はじめてのデータベース講座」

〔施策の柱3〕 ころ豊かな市民文化の創造

文化財については、将来にわたり地域社会全体で適切に保存し、活用していくため、「富士市文化財保存活用地域計画⁴³」を基本として周知・啓発を図り、その理念を地域住民と共有し、文化財に対する意識の醸成を図っていきます。

また、史跡保存整備推進委員会を開催し、令和5～6年度において学識者・市民の意見を伺いながら国指定史跡「浅間古墳」の保存活用計画の策定を行った成果として報告書を刊行するとともに、具体的な計画を推進していくための審議を行うほか、部会を開催します。

なお、市指定史跡「千人塚古墳」については、竹・笹の地下茎処理等の環境保全整備及び公開記念イベントを行います。

その他、頼朝と曾我兄弟の歴史・伝承にちなんだ史跡活用イベントの実施や市民歴史講座を開催します。さらに国重要文化財「古谿荘」については、引き続き国・県とともに建物修理に係る助成を行います。併せて、国登録有形文化財「旧順天堂田中歯科医院」の移築復原に向けた実施設計を行います。

博物館業務については、本市及び本市近隣市町の歴史・文化に係る調査研究を行い、企画展や展示会、体験講座等を開催するほか、小中学校等への見学対応や資料の貸出、まちづくりセンターや地域包括支援センター等への出前講座を実施します。

また、本市の歴史と文化を楽しみながら学び、併せて若い世代の出会いの場を創出するため、旧稲垣家住宅と竪穴式復元住居を会場に、「茅葺き古民家満喫プログラム～かまどでご飯と差し茅交流会～」を行います。



市民歴史講座



企画展ギャラリートークのようす

⁴³ 市町村において取り組んでいく目標や取組の具体的な内容を記載した、当該市町村における文化財の保存・活用に関するマスタープランであり、アクション・プランである。文化財の保存・活用に関して当該市町村が目指す将来的なビジョンや具体的な事業等の実施計画を定め、これに従って計画的に取組を進めることで、継続性・一貫性のある文化財の保存・活用が一層促進されることから、計画を広く周知し、地域住民の理解・協力を得ることにより、地域社会総がかりによる、より充実した文化財の保存・活用を図ることが可能となる。

各施策の重点事業（☆新規・重点事業）	
【施策①】芸術文化の振興	
（市民部文化スポーツ課による執行事業）	
【施策②】文化財の保存と活用	
<p>☆国指定史跡「浅間古墳」の発掘調査方針について具体的な調査方法を協議するための部会を開催する。</p> <p>☆市指定史跡「千人塚古墳」の整備報告書の刊行及び竹・笹の地下茎の処理等、環境保全整備を行う。</p> <p>☆頼朝と曾我兄弟の歴史・伝承にちなんだ史跡活用イベント（出張展示、デジタルスタンプラリー）を行う。</p> <p>☆無形民俗文化財継承支援として、大北のカワカンジー⁴⁴の現地調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士市文化財保存活用地域計画の周知・啓発を行う。 ・国登録有形文化財「旧順天堂田中歯科医院」の移築復原に向けた実施設計を行う。 ・天然記念物等の維持管理用の基礎データをまとめるための樹勢調査を行う。 ・国重要文化財「古谿荘」修復に係る助成等を行う。 ・市民歴史講座等、歴史・文化に関する普及啓発を行う。 	
【指標に関する取組】	
<u>文化財に関する講座、イベント等による文化財の保存・活用の促進</u>	
【指標】文化財普及活動に参加した人数	
【R6実績/ R7目標/R8目標】429人/640人/700人	
【施策③】学びの場である博物館の充実	
<p>☆第62回企画展「縄文のマジカル」を開催する。</p> <p>☆杉浦医院の外壁修繕・塗装及びガラス建具修繕を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茅葺き古民家満喫プログラム～かまどでご飯と差し茅交流会～を開催する。 ・文化財建造物等の保守管理を行う。 ・各種体験講座及び出前講座を開催する。 ・ウェブサイトの充実・博物館収蔵品データベースの整備を行う。 	
【指標に関する取組】	
<u>小中学校や高齢者団体による博物館資料を活用した学習支援事業の利用促進</u>	
【指標】博物館資料を活用した学習支援の件数	
【R6実績/ R7目標/R8目標】83件/90件/165件	
その他の事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会、文化財保存活用地域計画推進協議会、史跡保存整備推進委員会の開催 ・文化財説明看板の整備、修繕 ・埋蔵文化財発掘調査事業（民間開発に伴う確認調査、本発掘調査） ・発掘調査資料の整理及び発掘調査報告書の作成（千人塚古墳出土遺物保存処理等） ・博物館収蔵資料の調査整理作業（六所家旧蔵資料、山崎家文書ほか） ・富士山及び富士山南麓かぐや姫伝説に係る資料の調査収集 	

⁴⁴ 毎年8月15日に行われる盆の川供養行事で、松野地区の大北町区大北の集落に伝承されている。麦わらで直径2m程の輪を作り、そこに松明を立てて、火をつけて富士川に流して水難者の鎮魂を祈る。大北ではこの製作物および行事名を「カワカンジー」（川勧請）と呼ぶ。同様の行事は富士川流域各地で見られたが、現在は大北が数少ない貴重な伝承地となっている。